



違うからこそ意味がある！

まもなく期末考査が始まりますが、準備はできていますか。「まだ、これからだ」という人も多いと思いますので、まずは効果的な学習方法は何かという話から書き始めたいと思います。

皆さんから、「試験前に何をしたらいいですか」と聞かれることがよくあります。

筆者の場合は、「授業ノートをしっかりと見直してください」といっていますが、「教科書をしっかりと読みなさい」とアドバイスする先生の声をよく耳にします。

こうしたアドバイスをもらって、「本を読んだって、成績が良くなるとは思じられない」と思う人も多いはず。なぜなら、「教科書を読んでも、何を言っているのかわからない」と感じているからではないでしょうか。

しかし、目前に迫った期末考査であれ、大学の入学試験や会社の入社試験であれ、**最も効果的な学習方法**というのは「**読書**」なのです。

教科書に書かれている文章というのは、その分野では一流の人が書いているわけです。いくらわかりやすく書いてあるとはいえ、そう簡単に理解できる代物（しろもの）ではないのです。

だからこそ、「**どこがわからないのか**」を意識して**教科書を読む**ことが大切なのです。教科書を読んでみて「**どういうことをいっているのかわからない**」と感じたら、その部分が理解できるように、ノートやワークを使い、授業で習ったことを学び直せばよいわけです。

こうして一つ一つ「**わかった**」つもりになっていることを、「**できる**」ようにしていけばいいのです。教科書の**文章をよどみなく理解できる**ということは、**あなたが一流の人の考え方を身につけることができた**という証明なのです。皆さんも、これを目標に頑張ってみてはどうでしょうか。

ところで本を読むということは、一人でもできて、それ自体にも価値があるのですが、何人かで集まって一緒に読んだり、読んだ感想を発表し合うという体験にも、素晴らしい価値があります。

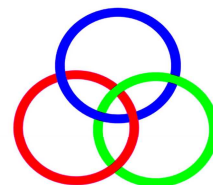
例えば、大学で行われるゼミナールや輪読会といった授業では、1つの論文であったり1冊の本を読みながら、著者が何を述べているのかを参加者全員で話し合うことで理解を深めます。

これにはどのような価値があるのかというと、**物事を多面的に理解することができる**ということなのです。もし自分1人で文章を読んだとすると、「私はこのように思う」という主観に基づいた理解しかできません。これに対して、何人かで読み、その感想を述べ合うという作業が加わると、**いくつかの異なる意見**が出てきます。すると、自分はこう考えたが別の考え方もあることに気づき、それらを見渡すことで、**自分1人では見えなかった内容も理解できる**ようになるのです。

そしてこの場面で重要なことは、**共通するものを持ちながら、それぞれの輪の中心が大きくずれている**ということ。これは右の図の3つの輪で示すように、重なる部分もありながら、その輪の中心がずれていれば、より広いものの見方ができるという意味です。もし中心が3つとも同じであれば、輪が一つしかないのと同じですから、3人も集まる必要がないのです。

自分とは異なる意見、特に自分の考えを否定されるような意見には、素直に耳を傾けるということはなかなかできませんが、それでも**自分とは異なる意見も受け入れる気持ち**を常に持つことができれば、いつかあなた自身が、本当の文殊菩薩のような知恵を身につけられると思います。

自分一人の考えにこだわることなく、違った価値観を持つ多くの仲間の声に耳を傾けてみましょう。



スクールカウンセリングのご案内

来月は次の日程でスクールカウンセリングを行います。

気持ちが少し疲れて、誰かと話をしてみたいと思う人は、教育相談室まで申し出てください。

第1回 7月9日(火) (7月は1回のみです。)

※ スクールカウンセラーの先生のご都合で、日程が変更になることもあります。あらかじめご了承ください。